

平成14年度工学部技術部技術研修会報告

研修担当代表 長岡敏彦

本年度の工学部技術部研修会が、平成14年12月5日(木)、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーにおいて技術部実施運営委員会の主催により開催されました。この中で、課題・研修報告6件、学外に於けるセミナー報告1件の発表が行われました。

午前の部は、後藤俊夫技術部長による「開会の挨拶」に始まり、ひき続いて講演を行いました。1つ目は、マイクロシステム工学専攻の佐藤一雄教授から、「寸法によって世界が変わる = 巨大機械からマイクロ・テクノロジーまで = 」という講演をして頂きました。2つ目は、当技術部環境安全技術系先任専門職員の堀木幹夫氏から、「工学研究科に於ける地震防災対策」という講演をして頂きました。最初の講演では鞭毛動物の推進力を発生させる機構やX線レベルによる高集積回路のマスクパターンの製造工程技術など紹介がありました。後の講義は、東海地震や南海沖トラフに起因する地震の発生が懸念されているが、これに対する災害対策に関するものであった。2つの講演は、私たちの身にとって重要な大事なことであると認識しました。

午後の部では、技術・研修報告、学外でのセミナーに参加した報告とが集中的に発表され、活発なる質疑応答が行われました。

この後、技術・研修報告を対象に、優秀チームの表彰の選考審査を6名の審査委員によって、「研修のねらいと意義」、「結果」、「発表態度・方法」の観点から総合評価を厳正に行いました。その結果、「TIG溶接技術習得とその評価」、「機械系技術室の工作実習アドバンスコースの実施報告」、「法人化に伴う安全管理基準等に関する調査」が表彰されました。

その後で、松井恒雄評議員よって研修会の総評を取りまとめていただき、併せて、「閉会の挨拶」を頂き、今年度の研修会を無事終えることができました。

研修会の終了後、研修会場にて懇親会を催し、評議員、事務部の関係者、多数の技術職員が参加し、リラックスした雰囲気の中で楽しく且つ有意義な一時となりました。

最後になりましたが、年末のあわただしい時期に、本研修会の企画・実施に際して後藤技術部長、技術部運営委員会委員、関係各教室教官、宇佐見政弘事務部長並びに事務部担当官の皆様には多大なるご支援ご協力を頂戴いたしましたこと、心より御礼申し上げます。

研修会の要項

日 時：平成14年12月5日(木) 午前9時30分～午後5時

場 所：ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階 ホール

研修の概要

1. 講演

- 1) 寸法によって世界は変わる- 巨大機械からマイクロ・テクノロジーまで -
工学研究科マイクロシステム工学専攻 佐藤一雄教授
- 2) 工学研究科における地震防災対策
工学部・工学研究科技術部環境安全技術系 堀木幹夫

2. 技術研報告

【技術・研修報告】 6件

【学外セミナー参加報告】 1件

3. 参加者 技官64名、教官3名、事務官4名